

平成29年度 事業計画

1. WAC事業（公益目的事業・その他事業1・その他事業2）

*WAC（ウェルディングコミュニティ）事業：

平成元年に厚生省（現厚生労働省）が「ふるさと21健康長寿のまちづくり事業」としてスタートさせた施策で、地域で暮らす高齢者が健康で安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざして、地域全体に社会福祉サービスを提供するために、健康・福祉施設を総合的に整備する事業

○公益目的事業：WAC法に基づく施設（疾病予防運動センター・高齢者総合福祉センター・在宅介護サービスセンター・有料老人ホーム）の設置および運営

○その他事業1：疾病予防運動センターのうち60歳未満の利用者（全利用者の3割相当）に該当する部分

○その他事業2：老人保健施設・訪問看護ステーション・ケアプランセンター（奈良事業のみ）

(1) 奈良事業

（厚生労働省WAC認定事業：H2.10.17付）

① 疾病予防運動センター（WAC第1号施設）

【ニッセイ・アーク西大和】

○地域社会との連携・交流

- ・ホームページの有効活用、地域情報誌への広告掲載、直営施設の西大和店とのタイアップ運営、プール会員募集キャンペーンの実施などの広宣活動を実施し、地域会員増を目指します。
- ・会員へのトレーニングフォローおよび運動・健康相談の実施や個別（特に高齢者）対象プログラムの充実を図ることで退会者の軽減や売上高の増加を目指します。

② 診療所（WAC第1号施設付置診療所）

【ニッセイ聖隷クリニック】

○地域社会との連携・交流

- ・河合町保健事業への協力や地域住民の受託検査、特定健診、予防接種の実施、献血活動の協力などを推進し、人間ドック等の健診の予約拡大や内科・整形外科及び物理療法患者数の増加など地域の医療機関としての役割発揮の向上に努めます。
- ・「奈良ニッセイエデンの園」内における有料老人ホームの協力医療機関として終末期医療における看取りサポートを強化するとともに、緩和医療の強化に取り組み、在宅事業・老健事業とも連携し、医療面でのサポート体制を充実させます。

③ 高齢者総合福祉センター（WAC第2号施設）

【ふれあいプラザ】

○地域社会との連携・交流

- ・生きがい・仲間作り、社会学習への参加促進を目指して、ワークショップ型の多世代交流型の講座を開催し、県内の大学など地域とのネットワークづくりを意識して活動します。
- ・河合町立文化会館まほろばホールとの連携を強化し、「地域のゆしみ」の発信基地として活動します。

④ 在宅介護サービスセンター〔訪問介護、福祉用具貸与・販売事業、居宅介護支援事業〕

（WAC第3号施設）【ニッセイせいれい在宅介護サービスセンター・西大和店】

○地域社会との連携・交流

- ・登録ヘルパーの登録者確保と同時に、喀痰吸引やターミナルケアニーズの中重度利用者へも対応できる体制の充実を図り、地域包括ケアシステムに寄与することを目指します。
- ・総合事業に向けた各市町村との連携を強化し、在宅事業所・地域包括支援センター・地域支援事業者等との連携の中で、引き続き更なるサービス提供体制の充実を努めます。

⑤ 訪問看護ステーション〔訪問看護事業〕（WAC第3号関連施設）【訪問看護ステーション西大和】

○地域社会との連携・交流

- ・近隣医療機関や複合施設としての連携を図るとともに体制を強化し、訪問エリアの拡大を行い、利用者数の増加を目指します。また、重度の利用者の受け入れ対応ができるように、質の高いケアの提供をします。

⑥ ケアプランセンター〔居宅介護支援事業〕（WAC第3号関連施設）【ニッセイせいれいケアプランセンター西大和】

○地域社会との連携・交流

- ・複合施設の強みを活かして事業所全体で利用者や家族を最期まで支え、地域包括ケアシステムの一端を担うため、河合町や管内各事業所との連携を強化し、より良いサービスを提供します。
- ・当センターが中心となり、在宅事業所で地域防災の取組みを継続します。

⑦ 有料老人ホーム〔特定施設入居者生活介護事業〕（WAC第4号施設）【奈良ニッセイエデンの園】

○地域社会との連携・交流

- ・「地域連携グループ」を中心にした活動を通じ、地域住民との交流を深めるとともに、近隣市町村の介護・予防事業へ積極的に参画し、地域貢献を推進します。
- ・地域との防災に関する協力を推進し、災害対策を整備します。
- ・地域における「介護サービス」の拠点および「学び」の拠点となるための整備を推進します。

○開園25周年を迎えエデン版地域包括ケアシステムの構築に向けて、より一層ご入居者に最善のサービス提供ができる環境づくりを行う。

○『健康生活』を過ごす仕組みを定着させ、介護予防を充実させます。

○食事サービスの充実を図り、大食堂での喫食数の向上に努めます。

○入居者募集においては、全職員が一体となって「奈良ニッセイエデンの園」のファン増加に努めるとともに、今後も入居者募集機能を強化することで高い入居率の維持に努めます。

○感染対策の徹底とコンプライアンスを意識した運営を図ります。

⑧老人保健施設 [介護老人保健施設、短期入所療養介護、通所リハビリテーション]
(WAC付帯施設)【奈良ベテルホーム】

○地域社会との連携・交流

- ・複合施設の強みを活かしながら、地域・行政・他事業所との連携を図り、利用者が望まれる生活支援を実践します。また平成27年度から実施している施設整備を継続し、利用者にとって安心・安全な生活環境を提供し、満足度向上に繋がります。
 - ・地域、行政との連携を強化し、地域住民に高齢者福祉の理解を深める働きかけや、地域ボランティア活動の支援など地域包括ケアへの参画を積極的に行います。
- 複合施設の強みを活かした渉外活動を継続し、利用者を積極的に受け入れ、安定経営に努めます。

(2) 松戸事業 (厚生労働省WAC認定事業：H6.12.15付)

①疾病予防運動センター (WAC第1号施設) 【ニッセイセントラルフィットネスクラブ松戸】

○地域社会との連携・交流

- ・地域での認知度アップに向けた活動を継続し、松戸市の総合事業の動向を踏まえ「介護教室」実施による健康スポーツの啓蒙を図り、地域会員数の拡大を図ります。
- ・「ニッセイ松戸アカデミー」と連携し、参加型イベントの充実を図ります。

②診療所 (WAC第1号施設付帯診療所) 【松戸ニッセイ聖隷クリニック】

○地域社会との連携・交流

- ・各職種における専門性を活かしたサービス、また最新医療機器の整備により検査精度の向上と迅速な確定診断を行うことで入居者、利用者へ安心と信頼を提供します。
- ・「医療看護サービスの充実」を目指し、各課の協力と情報の融合による総合力の発揮とサービスの向上及び病診連携強化に努めます。

③高齢者総合福祉センター (WAC第2号施設) 【ニッセイ松戸アカデミー】

○地域社会との連携・交流

- ・今後進んでいく入居者の新旧交代に対応し、かつ地域住民と入居者の交流の場としての教室の拡大を図ります。
- ・実施内容がコンサートに偏っているため、過去の実績から参加者が見込まれる落語会や入居者の趣味・関心の高い内容に関する講演を開催します。
- ・園の紹介記事を増やした地域向け広報紙を継続発行し、情報発信機能の充実に努めます。

④在宅介護サービスセンター [訪問介護事業] (WAC第3号施設) 【ニッセイエデンヘルパーステーション】

○地域社会との連携・交流

- ・日常生活支援総合事業における動向についての的確に情報収集をするとともに、今後の事業の在り方について方向性を検討していきます。
- ・国の施策において地域住民運営のサービスが活発化していく中、地域に根差す事業所の在り方として地域貢献についても検討を行います。

⑤有料老人ホーム [特定施設入居者生活介護事業] (WAC第4号施設)【松戸ニッセイエデンの園】

○地域社会との連携・交流

- ・地域を対象とした介護予防活動の提供や広報活動の充実と園行事の地域への発信等、広く啓発推進します。
 - ・松戸市指定の災害時の一時避難所として、近隣の施設との連携を深めます。
- 認知症の早期発見・早期診断・早期対応のシステムを向上させるとともに、医療・介護サービスが有機的に連携し、認知症の容態に応じて切れ目なく提供できる循環型のシステムを構築します。
- 松戸ニッセイエデンの園に関わるすべての人々が共有し遂行する目標として定めた「松戸ビジョン」の具現化を図り、すべての入居者にとって「我が家」となる施設の実現を目指します。
- 入居者参画型の企画・行事を充実させ、孤立しがちな入居者のコミュニティづくりを目指します。
- 個人情報の取扱い等コンプライアンスの徹底と施設内の感染症予防・集団感染防止等のリスク管理の強化に引き続き取り組みます。
- 入居者の協働・参画を得ながら、園全体で環境・省エネ活動を推進します。

2. 調査研究事業(公益目的事業)

(1) 地元行政機関等と連携した地域住民への高齢期の「健康」「生きがい」「安心」「住まい」の4分野(以下「4分野」という)に関する情報提供

- 奈良施設・松戸施設の立地する奈良県・河合町や松戸市等と連携し、4分野に関わるテーマによるイベントやセミナーの開催を通じ、地域住民への情報提供の取組みを継続します。

(2) WAC事業の展開の中で、4分野に関するノウハウ・スキルの研究と成果の関係諸機関への情報提供

- WAC事業に関連して、高齢期の生活向上に関するテーマで調査研究を実施します。
 - ・松戸市エリアにおける「あんしん電話」活動を定着・継続させるため、高齢化率の高い地域社会における、シニアと若い世代が互いに補完し合う見守り体制の仕組みを検証します。見守りボランティアの役割と責任範疇を洗い出すとともに、安心できる、有意義な活動を保証するための方策などについて考察を行います。
 - ・奈良施設においては、認知症予防を目的とした有酸素運動・デュアルタスクの脳活性化プログラムの効果検証の取組みを継続します。
- 奈良施設・松戸施設の各職場内で4分野を題材にした調査研究並びに発表会(福祉学会)を開催し、その研究成果について介護・福祉関係機関や専門学校等への情報提供に努めます。
<社会福祉法人聖隷福祉事業団との共同研究>

(3) 地域住民等への4分野に関する情報提供活動の実施

- 奈良施設・松戸施設内において、11月の「介護の日」にイベントを開催し、地域高齢者およびその家族に向けた介護・医療・福祉の知識向上への取組みを継続します。
- 有料老人ホーム等の高齢者施設の情報提供の一環として、高齢期の住まいをテーマにしたイベントを開催します。

3. 奨学金助成事業(公益目的事業)

- 介護福祉士・理学療法士・作業療法士という介護事業を担う人材の育成を支援する観点から、介護福祉士等を目指す学生に奨学金を支給します。

以上